



論点整理

第四章 情報活用能力の抜本的向上と 質の高い探究的な学びの実現 ⑤

質の高い探究的な学びの実現 ③

4 その他条件整備

- ◆ 探究的な学びに必要な時間の確保に資するという意味でも、デジタル学習基盤の活用や、学習指導要領の構造化や教科書の分量の精選、調整授業時数制度等により余白を生み出すこと、を進めていくべき



- ◆ 個々の児童生徒の思いや願い・好奇心に基づく探究の質の向上及び学校のカリキュラム設計の負担軽減が必要。また、探究のフィールドが外部に広がる中、社会の理解を促進する観点から、外部に協力を求める場合の基本的な留意事項等も必要である。

このため、これまでの実践の蓄積を可視化する形で、教員や児童・生徒が自由に参照できる参考資料をデジタル技術も活用して作成すべき

- ◆ 探究的な学びへの支援や成果の発表の場ともなる外部のイベント等について、国としても更なる振興を図るべき

ほんの少しの心がけて理想に近づく

くんし おも すなわ い まな すなわ こ
君子、重かざれば 則ち威あらず。学べば 則ち固ならず。
ちゅうしん しゅ おのれ し もの とも な
忠 信を主とし、己に如かざる者を友とすること無かれ。
あやま すなわ あらた はばか な
過てば 則ち改むるに 憚ること勿かれ。

(訳) 君子は重厚でなければ、威厳がなくなる。また学べば独善や頑固さもなくなる。
真心と誠を心の拠り所として、自分より劣った者と付き合っ、いい気になってはいけない。過ちがあったら体裁など考えずに速やかに改めるのに遠慮はいらない。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）